

平成 21 年 5 月 8 日現在

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2006-2009
課題番号：18530754
研究課題名（和文） 1990年代以降のインクルーシブ教育の展開におけるスウェーデン・モデルの解明
研究課題名（英文） Clarifying the Swedish Model of “Inclusive Education” after the 1990s to Today.
研究代表者
二文字 理明（NIMONJI MASA AKI）
大阪教育大学・教育学部・教授
研究者番号：00030461

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・特別支援教育

キーワード：インクルーシブ教育、スウェーデン、ノーマライゼーション、1990年代

1. 研究計画の概要

日本においては、特別支援教育という理念のもとに特殊教育の再構築が進んでいる。国際的な文脈では「特別な教育ニーズ」に応じた教育がユネスコの主導によって進展している。こういった環境下に独自の発展をみせるスウェーデンを捕らえ、インクルーシブ教育における「スウェーデンモデル」の解明に取り組むという計画である。

2. 研究の進捗状況

(1) 関連の文献等の資料収集に関して

- ・法制度については、学校教育法、教育課程等を翻訳し関連の法律と合わせて整理、編集作業を終えた。まもなく出版される予定である。
- ・インクルーシブ教育のスウェーデンモデルを解明するに当たっては、EUの動向の中におけるスウェーデンの位置を確認する必要があることから、その方面の資料や論文を集めている。これの分析が次の作業となる。
- ・最終的な比較のポイントのひとつである「カナダモデル」に関しては、スウェーデンにおけるカナダ情報を多少収集した段階である。不足分はカナダへの訪問で補うほかない。

(2) インクルーシブ教育関係の専門家へのインタビュー調査に関して

- ・関係分野の専門家へのインタビューを重ねて、インクルーシブ教育に関する多様な言説を収集しつつある。最終的な報告書に集約できるように準備中である。

- ・現在まで、インタビュー調査の対象を「インクルーシブ教育」関係に限ってきたが、政治的動向の激動期にある現在、対象をやや広げて、教育社会学関係の専門家へのインタビューの必要性を感じている。従って、最終年度は、教育社会学分野の言説の収集も必要であろう。

(3) 文献資料の解読作業

本研究課題は個人での研究である上、スウェーデン語の文献を一人で大量に読みこなす必要がある。予想された事態ではあるが最善を尽くすしかない。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

(理由)

インクルーシブ教育関連の教育制度および動向に関しては着実に資料収集、解読を進めている。ただし、政治的動向の把握が不十分である等、研究の不足点も見えてきた。今後は、こういった不足点を修正する必要がある。

スウェーデン語の解読の速度が必ずしも資料の量に対応し切れていないところをいかにしのいでいくかに苦慮している。

しかし、総合的に自己評価するとすれば、「②おおむね順調に進展している」という項目が該当すると考える。

4. 今後の研究の推進方策

現在までに得られた文献資料を読解しながらスウェーデンモデルの解明を継続する。最終年度は、特に政治的動向とインクルーシブ教育との関連における情報収集および分析に努めたい。スウェーデンと同程度のインク

ループ教育の進捗状況にあるカナダの訪問によって、国際的動向におけるスウェーデンの位置を確認したい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

- ① 二文字理明、1990年代のスウェーデンにおけるインクルーシブ教育の状況、大阪教育大学紀要、第IV部門、2009年、査読(無)印刷中。
- ② 二文字理明、スウェーデンの教育課程の翻訳と解題、発達人間学論叢、第10号、2007年、111-124頁、査読(無)

[図書] (計3件)

- ① 二文字理明、ノーマライゼーション思想を基礎とするスウェーデンの教育と福祉に関する法律集成、桜井書店、2009年、300頁(印刷中)
- ② ヤック・シーヴォネン、ニエミ、H(原著)、関隆晴・二文字理明(監訳)フィンランドの先生 学力世界のひみつ、桜井書店、2008年、261頁
- ③ エリクソン、G. 二文字理明、石橋正浩(編著)「ソーシャル・インクルージョンへの挑戦」明石書店、2007年、309頁